

ipswitch

ネットワークとサーバーと
アプリケーション監視における
9つの貴重な事実



イントロダクション

膨れ上がるITへの要望…

ほとんどどのような組織でも、ネットワーク・デバイス、IPネットワーク、物理・仮想サーバー、ITアプリケーションの信頼性、可用性、パフォーマンスに大きく依存しています。コミュニケーション、協業し、業務を遂行するために、ITインフラストラクチャは、業務上のあらゆる面を推進するデータを動かします。ハードウェア、ソフトウェア、仮想とモバイル技術で相互接続されたこのウェブは、産業分野を問わず、現代の企業が操業するのに欠かすことのできないサービスを提供します。

どのようにすれば、ますます拡大し複雑化する環境において、これらの膨れ上がる要求、ほとんど中断することなく「より少ないリソースでより多くの結果を」という絶え間ない要望を満たしていけるのでしょうか？「[ネットワークとサーバーとアプリケーション監視](#)」における9つの貴重な事実」では、問題を説明し、解決への道を概説します。

2016年までに

ワイヤレス機器
からのトラフィックが



有線デバイス
からのトラフィックを
超過する

2018年までに



IPトラフィックの
半分以上が
PC 以外のデバイスから

ビデオ通信の
使用が



ビジネスIPトラフィックを
倍増させる

2013年から2018年

事実その1

デバイスの数、トラフィックの量、ネットワークの負荷は爆発的に増大しています。

ネットワークへの要求は急激に上昇し続けています。ビジネス・アプリケーション、ユニファイド・コミュニケーション、ビデオ、モバイル・デバイス、リッチ・メディア、ビッグデータ、モノのインターネット、これらすべては、インフラストラクチャに対して新しい増大する要求をつきつけ、稼働時間、パフォーマンス、サービスレベルを維持するという課題はますますクリアするのが困難になります。

たとえば、Microsoft Lync、SharePoint や Exchange といった帯域幅を大量に消費するアプリケーションの使用によってグローバルIPトラフィックは過去5年間で5倍になり、さらに今後5年間で3倍になると予測されています。これらのビジネス上非常に重要なサービスによってユーザーはネットワーク全体にわたって大量のデータをいつでも自由自在に移動できるので、結果として帯域幅消費は著しく膨大します。

会社のネットワークを通じて Pandora、Netflix、iTunes などのエンターテインメント・サービスを楽しむユーザーがいたりすることもある、2018年までには全世界のIPビデオトラフィックが全IPトラフィック(企業、及びユーザー両方合わせて)の79%を占めるようになると言われ、ボトルネックや速度低下の危険はさらに強まります。メール、ファイル・トランスファー、VoIP、Web会議などを利用してますます多くのビジネスがオンラインで取引される今日において、高品質の帯域幅はビジネス上のやりとりにおいて絶対的かつ根本的に不可欠です。

サービス低下を起こさないようにするには、「**帯域幅大量使用者**」を検出し、管理できなければなりません。ビジネス上重要なアプリケーションの帯域幅の必要と、スマートフォン、ウェアラブル、ラップトップやタブレットなどのネットワークに接続するユーザー向けデバイスの流入による負荷とをうまく調整していくのは非常に困難です。ボトルネックがあると、Webサイトの使用感が下がり、ビデオ会議の品質が悪くなり、VoIP通信が途切れてしまうという問題につながります。そしてヘルプデスクのスタッフに問い合わせが殺到します。

webサイトのパフォーマンスは収入に直接影響します：

\$\$\$ \$\$\$

Microsoft Bingのデータ

2秒の遅れ

=

2.5%の低下

問い合わせと総クリック数で

Amazonのデータ

100ミリ秒 = **1%**

100ミリ秒の遅れが1%の減益に匹敵

Yahoo!のレポート

400ミリ秒のロード時間の短縮 → **9%のトラフィック増加**

ロード時間の400ミリ秒の改善がトラフィックの9%の増加に

事実その2

ITインフラストラクチャとアプリケーションが適切に稼動しなければビジネスは停滞します。

ITインフラストラクチャは、かつて考えられなかったほどビジネスにとって重要になってきています。ユーザーの期待はどんどん高まっています。ビジネスといえばe-Businessがデフォルトで、ITはもはやオフィスの裏方の機能ではあり得ません。ITは企業が顧客、社員、関連会社と関わっていくための基本的手段になっています。

顧客とのやりとりにおいてITシステムは中心的役割を担います。セルフサービスを強化する企業の増加に伴ってこの傾向はますます顕著になっています。最高の可用性とパフォーマンスを確保することはエンドユーザーに満足してもらうためには必須であり、今日のITにおける最重要事項の1つです。

トランザクションが遅いとコンバージョン率が下がり、サービス応答の悪さが顧客のいらだち、社員の不満、ユーザー・エクスペリエンスの低下につながることはよく知られています。また、「応答時間の遅さ」は、停電と同じ程度に損害を与え得るほど深刻な問題です。

個人向けサイトのレスポンスの1秒の遅れが、カート量で2.1%、コンバージョンで7%、ページビューで11%、顧客満足度で16%の低下につながるという[研究](#)が報告されています。1日に10万ドルを売り上げるサイトで換算すると、年間250万ドルの損失に相当します。逆に言えば、パフォーマンスを向上させれば売上高を上昇させることができます。

ITインフラストラクチャによってトランザクションが可能になりますが、それはデータへのアクセスも可能ということを意味します。社員や顧客は、いつでも、どこでも、どんなデバイスからでもインフォメーションにアクセスできなければなりません。それができる[高度なITインフラを持つ企業は競争力を高めることができます](#)。

10社中7社が、ITインフラストラクチャは企業の競争力の向上や収入と利益の最適化のために重要な役割を果たすと考えています。卓越したITインフラストラクチャを持っている企業は、同業他社より高い収益成長率と収益性を生み出し得ます。

連邦政府機関の
70%近くが
ネットワークの複雑さが増大
していると認識

同ネットワーク管理者の
81%が
ネットワークの複雑さが
ITパフォーマンス
を悪化させると認識

従業員の**62%**
が個人デバイスを使用、
ネットワークの複雑さがさらに加速



IT管理者の
58%が
人員削減
を予想

ほとんどのITリーダーが
予算削減
を予想



事実その3

ITの複雑さはITチームより急速に進展します。

宇宙とその中の自然及び人為システムは時の経過とともにより複雑になる本質的傾向を備えていると何世紀にもわたって主張されています。IT管理職やIT管理者の中にそれに反論する人はいないでしょう。

CIO.comには次のようにあります：

プロジェクトを管理するのはゼリーをジャグリングするようなものだ。簡単でもなくきれいでもない。情報技術は、いつも流動的で、変化しており、調節が多く、ビジネスに課題をつきつけるので、特に手に負えない。

ITの複雑さを増大させている要因として次のような点が挙げられます：

- ネットワーク可用性を維持し、どんどん増えていくデバイスのタイプ、オペレーティング・システム、ソフトウェア・アプリケーション、セキュリティ機能などをサポートしなければならないというプレッシャーを強くするBYODとITのコンシューマライゼーション
- 業務拡張に伴うネットワークの絶え間ない進展 — 有線・無線ネットワーク、物理・仮想システム、クラウド、ホスト付きと自社運用システム、ハイブリッドシステムとアプリケーションなどを含めて
- データ、アプリケーションと業務活動が企業のファイアウォールを越えることがあるのでITセキュリティと規制コンプライアンスへの要求の飛躍的高まり
- 不正や非認可デバイス、「シャドーIT」システムなどの、ネットワーク安定性とパフォーマンスへの隠された脅威

ITは常により少ないコストでより多くのことをするよう期待されます。もちろん1日における時間の長さは変わりません。競争激化に伴う人員削減の矢面に立たされ、IT部門がダウンサイジングの対象になることもあります。CEBの報告書

「[コーポレートITの未来](#)」によれば、2015年までに単独IT部門の従業員数は75%まで削減する可能性があります。

IT環境の複雑さとリスクが間違いなくITチームが発展する速度に先んじて増大していく中で、ITチームはどうすれば活路を見出せるでしょうか？同程度かより少ない人員と予算と設置面積で、ますます深まる複雑性を管理するためには、購入しやすく、導入しやすく、使いやすい、シンプルで信頼できるIT管理ツールが必要です。

ネットワーク中断
1時間のコスト



メディア.....9万ドル



医療・看護.....63万6千ドル



小売.....110万ドル



製造.....160万ドル



通信.....200万ドル



エネルギー....280万ドル



証券サービス **648万ドル**

Amazon.comが2013年1月に
約49分間停止したとき、
その売上げにおける推定損失額は
400万ドル以上

これは

1秒あたり1,104ドル
に相当



事実その4

ネットワーク中断の選択肢はありません。

ネットワーク中断は許容されません。現代の企業においてはそのコストは簡単に1時間あたり50万ドルを超えてしまいかねません。ダン・アンド・ブラッドストリート社によると、フォーチュン500企業がネットワーク中断によってこうむる損失は年間4,600万ドル以上になると推定されています。

ネットワーク中断のコストは産業によっても、事業規模によっても異なります。中規模企業においては時間単位のコストは低いかもしれませんが、ビジネスへの悪影響は比率の上ですと大きくなる可能性があります。

アバディーン・グループの調査によると、2010年6月から2012年2月の間に、1時間の中断コストは38%上昇しました。企業の自動化はますます進み、ビジネスを行うにはネットワークに頼らざるを得ないので、ネットワーク中断のコストは上昇の一途をたどります。業種を問わず、ネットワーク上のアプリケーションを通じて仕事を進めるので、ネットワークの中断はビジネスの中断を意味します。

システムは毎日24時間稼働し続けなければなりません。紙ベースのバックアップ処理プロセスはもはや実行可能な選択肢ではありません。今日のサービスレベルアグリーメント(SLA)に反映されるように、どの企業もネットワーク中断とネットワークとアプリケーションのパフォーマンス低下に寛容ではられないことは疑いようもありません。

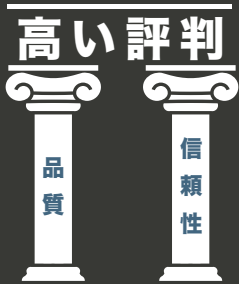
影響の度合いが非常に高いので、どこのIT部門においてもクリティカルなシステムの可用性とパフォーマンスは最重要課題となります。IT部門は、限られた帯域幅を業務上重要なアプリケーションに優先的に振り分け、低速化が中断に至らないよう、ボトルネック箇所の詰まりを速やかに解消する必要があります。

もしネットワーク問題を迅速に解明できなかつたら、ビジネスへの影響は非常に深刻なものになり得ます。ビジネスリスクとネットワーク中断によるコストを最小限に抑えるためには、ネットワーク・リソースを効果的に割り当て、ユーザーに悪影響が及ばないうちに問題になりそうな状態を緩和し、問題が起こってしまったら速やかに検出して解決しなければなりません。

“ウェブサイトは、各顧客が可能な限り最高のエクスペリエンスを得られるよう設計されていなければなりません。
良好なエクスペリエンスを提供できないウェブサイトは、企業イメージを大きく損なうこととなります。”

—META Group

品質と信頼性は
 組織の評判を形成する
 2つの重要ファクターです



5.27 万ドル

ビジネス上、操作上の
 重大問題に起因する
悪評判による2年間の
推定損失額



“エンドユーザー・エクスペリエンスの質を測定する機能を持っている組織は、そうでない組織に比べてそのブランドを高く評価される可能性が2倍高く、社員の生産性を向上させる可能性も75%高い。”

—Hyoun Park氏、アバディーン・グループの
 リサーチアナリスト

事実その5

ネットワークとアプリケーションのパフォーマンスが評価の対象になります。

顧客や関連会社、様々な部署の社員が関わってきますが、ネットワークがIT部門のビジネスであり、評価はアクセスされるネットワークによって定まります。ユーザー・エクスペリエンスとユーザーの好感度は、ネットワークとアプリケーションの可用性とパフォーマンスに大きく左右されます。

ネットワークが短時間中断しただけでも、損失が生じ、生産性は低下し、システムを復元するのにもコストがかかります。まして、大規模な停止や評判にかかわるセキュリティ侵害の影響は甚大です。IBMとフォーブス誌による最近の調査によると、[評判を落とすとダメージはリカバリー後も残り続け](#)、ほとんどの場合四半期の売上げに影響が出るほど長引きます。大きな問題に発展すると悪い評判は後を引き、推計によれば2年以上にわたって500万ドル以上の損失に結びつく可能性があります。

ネットワークとアプリケーションのパフォーマンスを高く維持するには、次のような機能が必要です：

- 問題を迅速に検出、解決する
- 帯域幅使用率を測定し、戦略的に割り当てを行う
- 質の高い顧客/エンドユーザー・エクスペリエンスの提供に関連する重要業績指標を表示する
- サービスレベルアグリーメント(SLA)を常に満たしていることを検証する

この文脈において、効率的で効果的な監視ツールはどれほど重要でしょうか？[ある調査](#)では、70%の組織が診断するのに少なくとも営業日の丸一日を要したクリティカルなネットワーク上の問題を経験しています。73%が調査の時点で解決していないネットワーク問題をかかえていました。これらは、うまく統合された適切な監視ツールがあれば事実上解消できる問題です。

さらに、新たにITインフラストラクチャとサービスを展開していく場合は、セカンドチャンスはなく、失敗は許されません。期待通りのサービスを最小限の中断で速やかに提供する必要があります。ネットワークは新しいサービスの提供を開始する準備が整っていますか？インフラストラクチャの大規模な変更に伴うリスクへの対策は講じていますか？成功の証しとなる導入前と導入後の評価指標は提示できますか？

7 ネットワークのパフォーマンス問題の主要な7つの根本原因



ネットワークの混雑



ネットワーク設定変更



サーバー・システム（仮想マシンを含む）



セキュリティ・システム



アプリケーション設計の問題



エンドユーザーまたはクライアント・システムのエラー



ストレージ・システム

事実その6

ユーザーに悪影響が及ぶ前に問題を検出して解決しなければなりません。

ヘルプデスクに寄せられる問い合わせによって初めて問題を把握するといったような事態は許されません。ユーザーがサービスの低下を訴える前に問題を検出して解決できるよう積極管理する必要があります。積極管理には3つの側面があります。

1つめは、ネットワークとサーバーのパフォーマンスと可用性と状態の統括的なリアルタイムのビューを獲得することです。問題を可能な限り早く特定して解決するために、監視の範囲、警告、上位者への対応引継ぎなども考慮しなければなりません。いろいろなことに起因し得るネットワーク問題に関して先んじているためには、次の3つのタイプの監視から早期警告情報を表示する統一されたダッシュボードが必要です：

- 期待されるレスポンスを待ってデバイスやサービスに積極的にポーリングを行う監視。期待されないレスポンスが返ってきたり、レスポンスがない場合は、警告を出すかアクションを起こす。
- 問題を起こしているデバイスの状況を把握し、通常でないアクティビティを検出し、問題を起こしそうな可能性がある状態を発見できる監視。単にデバイスがアップかダウンかといった状況のデータを集めるばかりでなく、認証失敗などの重要であってもあまり頻繁には起きない問題を補完的に監視する。
- 将来計画を立てられるよう、重要なコンポーネントの使用率と可用性を示す履歴データ及びしきい値データと相互関連するレポートの基礎として、主要デバイス・マトリクス（CPU、ディスク、メモリの使用率など）を収集する監視。

2つめは、時間の経過にしたがって変化していくネットワークとサーバーのインフラストラクチャがどのように稼働しているかの完全な履歴レポートのビューを得ることです。これによって傾向を把握し、サービスレベルアグリーメントを満たすことが可能になります。ネットワークのトラフィック量が増大していたら、新しい帯域幅需要に合わせて容量追加を事前に計画できます。それでITインフラストラクチャは常に稼働状態に保たれ、効率性、応答性も維持できます。

監視ツールからの全範囲の組み込みレポートと素早く作成できるカスタム・レポートは、積極監視の視点で大変重要です。例えば、どこがボトルネックになっているかを検知し、インフラのパフォーマンスを最適化するにあたっての「制限要因」となっているのは何かをつきとめるには、ネットワーク・トラフィックと設定データと並べてパフォーマンス・データのレポートを目視できなければなりません。

3つめは、重要なメンテナンスがユーザーや顧客に最も影響を与えにくい時間帯に行われ、影響があったとしても最小限に抑えられるよう、最適なメンテナンス計画を立案できる能力です。

統一された監視 の利点



インフラストラクチャの
可用性が向上すれば



**エンド・ユーザーの生産性は
最大20%向上**

ビジネス・サービスの
可用性が向上すれば



**利益損失は
最大15%減少**



**平均修復時間は
25%以上短縮**

統一された監視は



システム停止を20%削減

事実その7

有線・無線ネットワーク、物理・仮想サーバ、及びアプリケーションの統一された監視は不可欠です。

ビジネスの成功はそのITサービスの可用性に依存するようになってきており、1ヶ所の小さなネットワーク問題がビジネス全体に波及してしまうこともあり得ます。ますます複雑化し多様化するITに対応できるよう進展することを期待されるITチームにとって、ネットワーク・トラフィック、帯域幅使用率、ログ・ファイル、究極的なユーザー・エクスペリエンスなどを含め、有線・無線ネットワーク、物理・仮想サーバ、そしてアプリケーション全体にわたって統一的に監視することは非常に重要です。

どこで問題が発生しても、ITチームはその根本原因を的確につきとめ、責任をもって問題解決にあたらなければなりません。そのための唯一の方法は、インフラストラクチャ全体にわたっての完全な可視性を獲得することです。統合された監視ツールを使うことにより、平均修復時間を25%かそれ以上削減することが可能です。

すべてのインフラストラクチャとアプリケーションの可用性とパフォーマンスを1つのシステムから監視できれば、問題を速やかに検出して解決でき、責任のなすりつけ合いや人海戦術的な手法から抜け出すことができます。統合された単一ビューは、トラブルシューティングを簡易にし、SLAを満たしているかネットワーク・パフォーマンスを計測し、ポリシー違反や不正な変更をただちに検出し、アプリケーションのパフォーマンスを最適化し、急激な必要量上昇に対応し、ユーザー・エクスペリエンスを監視するための基本です。必要に応じて詳細までドリルダウンする能力と同時に、全体を見渡せる大きな視野が必要です。そしてソリューションは、フルタイムの要員を割り当てなくても済むよう、十分シンプルでなければなりません。

統一された監視ソリューションは、ネットワークとシステムのそれぞれの専門家の間を「共通言語」で結びつけます。統合ツールのまわりに集まった各担当者が、ITインフラ全体の可用性をリアルタイムで確認しながら、問題の根本原因の積極的解明に関与します。解明された問題は適切な担当者が解決を引き受けます。また、統一された監視ソリューションは、適切な担当者が即座に対処できるよう統合的な警告を発信します。

自動作成される
ネットワーク・ダイアグラムが
あれば解消できます

79%
がネットワーク問題が
間違ったITグループ
にまわされた経験有



77%
がネットワーク/セキュリ
ティ問題の間違った根本
原因を経営陣に報告

87%
が確固たる情報がない
まま問題の根本原因を
上司に報告

事実その8

自動ディスカバリと継続的な依存関係のマッピングは時間を節約し、問題の早期検出と解決につながります。

ITインフラストラクチャを管理して問題の根本原因を速やかに解明するには、デバイス間の相互関係を理解しておかなければなりません。今日において、ネットワークは次々に変更が加えられ、極めて動的です：新しいアプリケーションの導入、データセンターのオンライン化、オフィスの配置換え、組織の吸収合併、インフラ・コンポーネントの接続追加、等々。

インフラストラクチャの信頼性を高めるには、依存関係マップが常に最新の状態になっていることが必要です。変更が加えられる度に手作業でマップを更新するのは、複雑過ぎてエラーも起こりやすく、長時間を要するので度を越えた人件費がかかります。ITスタッフへのある調査で、77%が経営陣に報告したネットワークまたはセキュリティ問題の根本原因が間違っていたことがあると回答しました。ネットワーク問題が間違ったITグループにまわされたことがある割合は79%に及びます。確固たる情報がないまま問題の根本原因を上司に報告しなければならなかったことが1回以上あるITスタッフは87%で、39%は複数回そのようなことがありました。

ディスカバリと依存関係マッピングを自動的に行うツールを使えば、時間と労力の大幅な削減が可能です。さらに、タイミングよく正確なデータが得られるので、ITチームは俊敏に業務をこなせます。俊敏さを云々する前に、ITチームはどんなデバイスがどこにあり、各デバイスがどう関係しているかを理解している必要があるのは当然ですが。

自動化されたディスカバリとネットワーク・ダイアグラムは、「警告疲れ」も軽減します。警告疲れとは、重要性や優先度による選別ができず、多過ぎる警告に適切な対応ができなくなってしまうことです。多過ぎる警告、「警告の嵐」は、1つのデバイスが障害を起こしたとき、それに依存する階層下流の全デバイスが次々に警告を出すことで起こります。誤検出された障害に惑わされていては、本当の問題に迅速に対応することはできません。自動ディスカバリと自動マッピングがあれば、障害を起こしたデバイスに関する警告だけを即座に受け取ることができず。

自動ディスカバリと自動マッピングの利点：

- 常に最新の状態の正確なネットワーク・ダイアグラムを保持し、ネットワーク文書も最小限の労力で簡単に作成可能
- レポート作成を自動化
- ハードウェア資産インベントリを追跡

\$ コスト構造は
何をベースとするかで
大きく差が出ます

インターフェイス・ベースのライセンス料体系では、何が重要なのか検討して選択しなければなりません。

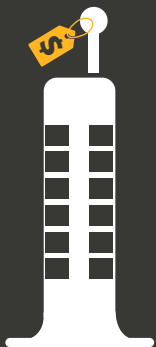


後で追加する必要が生じたら、追加支払いが発生します。



手作業&複雑

デバイス・ベースのライセンス料体系を選択すれば、デバイス上のすべてのインターフェイスがカバーされます。



デバイスに接続するすべてに対して1回の支払いですみます。

自動&シンプル

事実その9

シンプルさと自動化は効率を大幅に向上させます。

ITチームにはネットワークを常時稼働させるようにするプレッシャーがかかります。ネットワークの構成、状態、起こり得る問題と実際に起きている問題について把握し、監視し、報告するための手段として自動化はどうしても必要です。そういった自動化をするのに、導入や管理が簡単でコストも高くなく、強力かつ柔軟なツールは存在します。

ネットワークがますます複雑化するなかで、真の問題を解決し、簡単にインストールでき、設定に専門家チームを必要とせず、高い効率性と投資利益率につながるツールが求められます。必要でもなく使われることもない機能に対して支払う必要のない、洗練されたIT管理システムが求められます。混乱や面倒がなく、すぐに使えて期待通りに稼働するツールが求められます。

求められるツールの必要事項をまとめます。

- ・ 購入、導入、使用が容易であること
- ・ 期待通りに稼働し、ネットワーク・デバイスと依存関係を迅速に検出・把握できること
- ・ シンプルで妥当な価格体系

統合化監視ソリューションのシンプルさと効率性に関する重要なポイントは3つあります。

1. すべてを統合する単一ダッシュボード：ソリューションは管理情報を直感的にわかりやすく表示する必要があり、ネットワークの運用について深く考察できるよう全体を一目で見渡せる統合ダッシュボードにまとめるのが望ましいでしょう。
2. 速やかにスムーズに始動：ネットワーク・デバイスの自動検出と依存関係の自動把握、及びマッピングを含め、セットアップと設定が1時間程度で完了することが目安です。
3. コスト構造：シンプルで穏当なライセンス料体系とメンテナンスの容易さは、総所有コストを低く抑えます。

デバイス・ベースのライセンス料体系は、市場における低価格でシンプルで予測しやすい価格体系のトップに位置します。1つのデバイスへの支払いで、そのデバイス上のいくつかのポートでも監視するからです。ポートが増えたからといって追加の支払いは発生しませんから、監視のための出費が年ごとに増えていくことはなく、面倒な追加予算承認の手続きにITの時間を割く必要もありません。

「クラウド、ITaaS、SDN、DevOps、どれそれをハイブリッド化する、などといった話題に関しては、ときとして誇大広告と現実とを区別するのが困難な場合があります。ですが、ITの世界でいくつかの確かなことがあります。そのうちの1つは、**相互に連絡を取り合うことができなければITは機能しない**ということです。これは、ネットワークが堅固でなければならないことを意味します。社内ネットワークインフラなど、企業ITチームが完全にコントロールできるものもありますが、WANやインターネットなどはコントロールできません。接続性は不可欠なので、ネットワークを常に正常に稼働させることの必要性を疑う人はいないでしょう。その役割はITの雄大な基本構想の中に確定されています。」

– ジム・フレイ氏、EMA副社長、アナリスト

統合された監視ソリューションを使うとIT作業がスムーズになりパフォーマンスが向上することをお確かめください。

ipswitch
WhatsUpGold

無料試用版をダウンロードいただけます

まとめ

ネットワークが稼働しなければビジネスは成り立ちません。

現代においてあらゆる企業はユニークですが、どの企業にも共通する点が1つあります：ネットワークが稼働しなければビジネスが成り立たないという点です。コミュニケーション、コラボレーション、コマース—企業の目的であり、基本的機能であるこれらの活動は、ネットワークと、関連するサーバー、アプリケーションのインフラストラクチャなしには進めることができません。

常時正常に稼働していることを期待されながら、数多くの内外の要因によって安定性やパフォーマンスが悪化する可能性がいつもあるので、インフラストラクチャを監視し管理することはITチームがその使命を果たす上で極めて重要です。

ネットワーク監視における9つの貴重な事実から引き出される結論は、ネットワーク、サーバー、アプリケーションのインフラストラクチャがIT管理者にとってのビジネスであり、それを維持し運用を最適化するためにはそのリアルタイム情報と履歴情報を適切に獲得できなければならないということです。

トップレベルのネットワーク、サーバー、アプリケーション監視ソリューションは、ITインフラで相互に関係するコンポーネントすべてのパフォーマンスと可用性データを単一の使いやすいダッシュボード・ビューに統合します。この包括的なビューで、ユーザーの生産性を最適化し、顧客満足度を保証し、ビジネスの俊敏性を確保し、戦略的技術投資をサポートするのに必要な洞察力を得られます。

導入しやすく、難しいトレーニング不要で簡単にすぐに使えて、優れた効率性と投資利益率を引き出せるのが最高の監視ソリューションです。追加ツールを購入して別途管理するのは避けたいですから、ソリューションが包括的であることも確認しましょう。仮想インフラストラクチャの監視、アプリケーションのパフォーマンス監視、ログ管理、設定の変更・管理などのオプションは、コア・ソリューションに低価格でスムーズに統合できる必要があります。

明瞭でコスト対効果比に優れるライセンス料体系であることも重要なポイントです。必要なものに対してだけ支払えば済み、予算計画が立てやすくなります。

イプスイッチは、上述のようなネットワークとサーバー監視のシンプルで強力なコスト的に優れたソリューションを提供します。イプスイッチのツールは、本当に重要なものに集中できるようにIT監視を単一のビューに統合し、ユーザーが苦情を言い出す前的確な警告を発信します。

イプスイッチについて

イプスイッチは、複雑なIT問題をシンプルなソリューションで解決します。クラウド、仮想環境、ネットワーク環境での途切れないパフォーマンスでIT部門を支援します。ネットワーク、アプリケーション、サーバーを監視するために、そしてシステム、パートナー会社、顧客との間のファイル転送のために、世界中の多くのお客様から信頼を得ています。マサチューセッツ州の本社のほか、米国各地、ヨーロッパ、アジア、中南米に拠点があります。

詳しくはホームページ、<https://jp.ipswitch.com/> をご覧ください。

ipswitch

➤ 無料試用版のダウンロードはこちらから：
<https://jp.ipswitch.com/forms/free-trials/whatsup-gold>